

平成 26 年 6 月 24 日

報道関係各位

銚子信用金庫

## 平成 25 年度決算概要の公表について

銚子信用金庫（銚子市双葉町 5 番地の 5、理事長：松岡明夫）は、平成 25 年度決算（平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月）の概要を下記のとおり公表いたします。

## 記

## 1. 預金積金・貸出金の状況

単位：百万円

	平成 25 年 3 月末	平成 26 年 3 月末	増 減
預金積金	446,175	452,348	6,173
貸出金	147,619	144,216	△3,403

預金積金残高は、個人向け国債の償還金に対する定期預金募集や夏季・冬季の定期預金キャンペーンなど、積極的な募集活動を展開し、前期比 6,173 百万円（1.38%）増加し、452,348 百万円となりました。

貸出金残高は、事業性融資については設備資金の需要喚起に取り組むとともに、セーフティネット保証など信用保証協会保証付融資を主体に推進し、個人性融資については金利割引サービスを付加した住宅ローン、リフォームローン、カーローンを中心に推進しましたが、設備資金の需要低迷などにより、前期比 3,403 百万円（2.30%）減少し、144,216 百万円となりました。

## 2. 損益の状況

単位：百万円

	平成 25 年 3 月末	平成 26 年 3 月末	増 減
業務純益	2,168	1,928	△240
経常利益	1,246	1,645	399
当期純利益	1,489	1,279	△210

業務純益は、貸出金残高の減少や利回りの低下などにより資金運用収益が前期比 536 百万円減少したことにより、同 240 百万円（11.07%）減少の 1,928 百万円となりました。

また、経常利益は、償却・個別貸倒引当金繰入額などの臨時費用が同 692 百万円減少したことにより、同 399 百万円（32.02%）増加の 1,645 百万円となり、当期純利益は、同 210 百万円（14.10%）減少の 1,279 百万円となりました。

### 3. 不良債権（金融再生法上の開示債権）の状況

単位：百万円

	平成 25 年 3 月末	平成 26 年 3 月末	増 減
不良債権残高	14,850	13,921	△929
不良債権比率	9.97%	9.58%	△0.39%

不良債権については、毎期年度当初に策定する処理計画に基づいて処理を進めたほか、優先順位を付して事業再生等の支援を実施したものの、大口融資先の倒産や債務者区分の引下げなどが発生したため、不良債権額は前期比 929 百万円の減少に留まりました。不良債権比率は、分母となる総与信が減少しましたが同 0.39 ポイント低下の 9.58%となりました。

### 4. 自己資本比率

	平成 25 年 3 月末	平成 26 年 3 月末	増 減
自己資本比率	12.24%	12.24%	0.00%

自己資本は、当期純利益から利益配当を控除した全額を内部留保したことにより、前年度末比 939 百万円増加したものの、新たな自己資本比率規制（国内基準）の適用などに伴い、自己資本比率は前期比同率の 12.24%となりました。

なお、当金庫は、新たな自己資本比率規制に基づく自己資本比率の算定にあたり、任意に適用可能とされている経過措置は適用しておりません。

以 上

本プレスリリースおよび資料についてのお問い合わせは下記の担当までお願いいたします。

銚子信用金庫 総合企画部（担当：森山）

〒288-8686 千葉県銚子市双葉町 5 番地の 5

tel：0479-25-2115 fax：0479-22-9909 e-mail：keiki02@choshi-shinkin.co.jp

**ちよししんきん**

<http://www.choshi-shinkin.co.jp>